

2学期のスタートに寄せて

コロナウイルス感染症の猛威が収まらない中での2学期のスタートとなりました。デルタ株は、従来型のおよそ2倍の感染力であることや、8月には全国の1日の新規感染者数が2万人を超える日もあったこと等を鑑み、学校での予防対策について、夏休み中に再度見直しを図り、改善すべきところを洗い出し、全教職員で確認をしました。

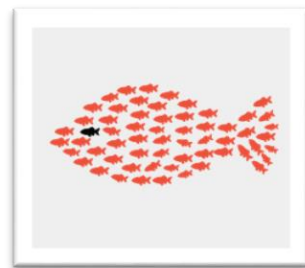
感染症予防のためにできること、「マスク、手洗い、換気」そして3密を避けるを徹底していきます。

さて、2学期が始まりました。

9月1日の朝、子どもたちは夏休みの工作等大型の宿題を大事そうに抱えて登校してきてくれました。私は相変わらず玄関ホールで登校して来た子とあいさつを交わし、一人一人の健康チェックカードを確認しました。

夏休みの間に、ぐんと背が伸びた子、日に焼けて色が黒くなった子、床屋さんへ行ったのでしょ、髪が短くなった子など、それぞれの夏を過ごしたのだなと思いました。気がついた変化は、外見、目に見えることでしたが、きっと心も成長してくれていることでしょう。それを見つけることを楽しみにしています。

2学期は、落ち着いて学習したり、読書したりしやすい時期です。運動や遊びなどの体を動かすことにも適しています。また、カブトムシなどの昆虫も多く見られるようになります。そして何より、食べ物もおいしいです。コロナはまだ収まりそうにありませんが、あれができない、これができないと嘆くのでなく何とか工夫し、スイミー(2年生の国語の教科書に出てきます)のように、「うんと考えて」コロナ禍であっても子どもたちの教育活動を推進していきたいです。



このコロナの状況は、いつまで続くか先が見えません。ワクチンを接種したからすぐ収束というシナリオではないという気がしています。今は、いつ、誰が感染してもおかしくない状況だと思いますが、子どもたちの学びを止めるわけにはいきません。

そのために私たちは、まさに、励まし合い、支え合い、助け合ってつながっていかねばならないと思います。